

令和元年度 阿南町立阿南第二中学校 自己評価

学校教育目標	めざす生徒の姿	総合評価と来年度の方向
知を耕す 心を磨く 体を鍛える	○主体的・対話的で深い学びから、自分の考えを更新させながら学力を向上させる生徒 ○一人一人に居場所があり、相手の気持ちに寄り添い、自分事として共感ができる生徒 ○心身の成長を実感すると共に、ふるさとに愛着と誇りをもち、貢献しようとする生徒	家族的なふれあいの中で、学校が楽しく、安心して生活できる場所になっていると感じている生徒が多く、学校内では自分の考えを出し合ったり、弱いところを見せたりもできる人間関係の中で学ぶことができている。また、少人数の利点を生かしつつ、全校での時間を設定して進めていることにより、学びへの関心・意欲は全体的に高い。さらに、主体的・対話的な学びをさらに実現していくために協同的に学ぶこと、探究的に学ぶことに力を入れ、導入されたICTの有効な活用を進めていく。
	本年度のキーワード	
	自ら 見通す ⇔ 振り返る	

評価：教職員による5段階評価の平均

	評価項目	実績・成果・課題など	評価
知	授業改善	下伊那全域の先生方を対象とした教育課程研究協議会の音楽の授業公開を行った。各授業では「学習課題」「まとめ」等のカードを板書に用いながら授業改善に取り組んだ。子どもの意識で授業を作っていくようにしたい。	3.7
	学びへ向かう態度	授業の中で実験や実技など体験を通して学べるようにし、「能楽」の講演や「アイヌの方のお話」など「本物」に触れる機会を多くしている。「弓道」では地域の方の協力で子どもの興味関心に沿った授業を行うことができた。	3.8
	探究的に学ぶ	総合的な学習では一人一人が課題を見つけ、探究的に学ぶ学習を行うために学級ごとにテーマを決めて活動している。探究的な学びとなるようにクラスでのテーマ設定、発表の時期や方法などをさらに検討していきたい。	3.4
	セルフマネジメント	自らの目標に向かって計画し実行していける力をつけていきたいと考え、本年度より「マネジメントノート」を導入した。自らタイム、1UPといった時間も同様の意図が実現できる価値ある時間となるようにしていきたい。	3.2
心	協働して取り組む	一中とお茶を通して交流会を行った。さらに授業交流なども企画していきたい。ともに生活をする仲間として大切にしたい。自分からあいさつなどもすることができている。全校集会のあと片付けなども協力して行っている。	4.1
	心を通い合わせる	全校合唱ではパートごとに3年生が中心となって下級生をリードし、歌い方などを伝え合っている様子がある。「群青」では震災で被災した人々に思いを寄せながら美しいハーモニーを作り上げることができた。	4.2
	勤労奉仕	清掃や式場準備など、それぞれに責任をもって取り組んでいる。花壇の活動では、委員会を中心として玄関前の花壇に芝桜を植え、クラス花壇は文化祭に向けて皆で水やりや草取りこまめに行い、花に心を寄せながら育てている。	4.1
	郷土愛	「ロードレース大会」「紅樹山下草刈り」「盆踊り練習」「早起き登山」「河川清掃」などを通して、地域の方と触れ合う中で様々なことを教えてもらう体験により新野に対する愛着心を育むことができた。	3.9
体	体力向上	清掃後のランニングタイムは、生徒が進んで体力を向上させることにつながっていないという昨年度の反省から、歩数計を身につけたり、タグラグビーなどを取り入れたりするなどして、楽しんで体力向上を図ろうとしている。	3.4
	健康安全	防災については「垂直式降下ヘルパー」や「煙体験ハウス」の体験、防犯については「ネットランチャー」の実演、また3年生は「BLS講習会」で心肺蘇生法を学ぶなど体験的な学習を通して意識の向上に努めた。	3.8

学校運営	組織・校務分掌	一人の職員が多くの校務分掌を抱え、数多くの業務をこなすが、滞りなく責任感を持って遂行できた。職員の関係性もよいが、負担を感じているところなどはお互いに分担し合い進めたい。新野学校CSと連携して地域のことを学ぶ学習を進めることができた。
	連携・情報発信	学校ホームページは随時更新し、校内行事については新聞報道各社に取材依頼を行った。学校だより、学級通信、保健だより等も定期的な発信を行った。臨時の情報についてはオクレンジャーを適宜利用して発信することができた。